



KASUMIKAI

91

2023
May

Contents

- P1 会長挨拶、副会長挨拶
P2 理事長・総長寄稿文、学長通信、2023年度 東京国際大学付属日本語学校 霞会奨学金授与式
P3 池袋キャンパス現況報告及び募金のお願い
P4 霞会各委員会紹介、「霞会創立50周年記念誌」の発行のお知らせ
広報委員会からのお知らせ、事務局より

発行／一般社団法人東京国際大学霞会
〒350-1102 埼玉県川越市市場北2-12-7 2F
TEL: 049-232-2080 FAX: 049-233-3314
e-mail: doso@tiu.ac.jp https://www.kasumikai.jp/

令和5年「大海は清濁包含す」



一般社団法人
東京国際大学霞会
会長 君野 信太郎

東京国際大学55期卒業並びに東京国際大学大学院卒業の皆様、ご卒業おめでとうございませう。皆様方は入学して1年経たぬうちにコロナ禍となり、先の見えない未だかつて経験のない学生生活を過ごすことになってしまいました。オンライン授業や新たな勉強方法を経験されたこと、社会的な制約の中で多くのご苦労を乗り越えてこられたことに對して敬意を表すと共に、これからの社会生活に於いて「一般社団法人東京国際大学霞会」の一員として有意義に活動して下さいますようお願い申し上げます。

ここ3年余りのコロナ禍の経緯を振り返ってみると、初めは撲滅の対象としてとらえていた「コロナウイルス」は、収束のない状況下でウイルスと人との係わりが目が向けられるようになり、その後「ウィズコロナ」と言われ、地球創生から共に生きてきた多様なウイルスと人類がどのように付き合っていくのかを論じるようになりました。また一方世界の状況を見ると、いまだ終結をみないウクライナ、ロシアの戦争状態は政治経済などの分野での世界バランスに変化をもたらしました。そして温暖化、地球環境を含め大きな転換期に入っており、私たちはこれからの社会に於いてどの様に生きるべきかを一層考えるときなのかもしれません。昔より善、悪を超越したものを上善と言ひ、水の持つ徳性に例えて「上善如水」と言われます。また「水は方

円従う」とも言われ四角い器には四角く、丸い器には丸くどんな器にも形を変え自由自在に対応する。天地自然の中に於いては雨として降った水は大地を潤し、低いところへと流れ、きれいな水も汚れた水も小川から大きな河川となり海に注ぎ大海に注ぎ込みます。そしてその度量は「大海 清濁合わせ呑む」清らかなものも、汚れたものも何もなかったように静かに包含し水の特性を変えることなく大海原として人の生命を活かし続けます。人は自然より多くのことを学びますが、私たちの「命」は大自然を包含し、宇宙創成から生き続けるうちにいろいろな知恵をもつて変化をしながら生命を存続してきました。

コロナの出現やロシア・ウクライナ戦争は世界規模的にも歴史的にも大きな変革をもたらしていると感じております。私たちの一人一人の「命」は全ての自然、生きとし生けるもの全てを包含し包み込んで余りあります。大切なことは心の持ち方一つかと思ひます。お互い一人一人が平和に生活できる世界を作り上げたいと希望期待することから始まります。

本年はいよいよ東京国際大学池袋校が開校いたします。そして来年秋には「一般社団法人東京国際大学霞会」が50周年を迎え、大学も霞会も大きな変革の時期となります。霞会は昨年11月に理事の改選を行い、新たな理事が選出され各委員会が活動いたしております。新しい時代に向かつて頑張つてまいりたいと存じます。皆様にはますますのご支援、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

副会長就任にあたり



副会長 高橋 広
6期 商学部

新しく同窓会の会員になられた卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございませう。また、全国及び海外各国の同窓生の皆さんにご挨拶申し上げます。

私は、1974（昭和49）年に卒業しました第6期生です。それまで、本学には同窓会がありませんでした。3月25日の第6回卒業

副会長就任にあたり



副会長 小沼 元廣
9期 商学部

本年は、東京国際大学の池袋キャンパスが開校予定であります。そして来年は、霞会が誕生して50周年を迎えます。そのような大事な時期に副会長として、働けるのは大変素晴らしいことと感じています。

また、昨年の総会では霞会に新たな思いを持って参加して下さった若い理事が選任

霞会へ、ようこそ



副会長 下羽 初枝
10期 商学部

東京国際大学55期並びに大学院修了の皆さま、ご卒業おめでとうございませう。コロナ禍の中での学生生活は困難やご苦労を伴ひ、戸惑うことがあったのではないかと推察します。そんな中で身に付けた柔軟な対応力そして大学での学び、経験がこれからの皆さんの人生に活かされることを切に願ひます。

式の当日、第1期生の尾谷長彦さんに来ていただきご挨拶してもらい、金子泰蔵学長に同窓会の立ち上げについてお祝辞をいただき、会場出口で、卒業生から同窓会費を集めて、近くの富士銀行に口座を開設したのが本学の同窓会の始まりです。それから10月1日に同窓会名簿を発行し、11月3日に同窓会の設立総会を開催しました。

早いもので、来年の11月の総会では、創立50周年記念総会になります。この記念すべき時を、皆さんとともに迎えられることは、この上なく光栄なことだと思います。皆さんの大切な思い出を、創立50周年記念総会で形にしましょう。どうぞよろしくお願ひいたします。

され、霞会も新時代を迎えるのだなどの感慨が湧いてきました。これからもどんどん卒業生が霞会に加わって来ますので、後輩に誇れる素晴らしい組織としての一般社団法人を構築して行かなくてはならないと考えています。

さらに今後は、会長、副会長、理事や役員だけでなく、同窓生の皆さんと一緒に霞会を盛り上げて行きたいとも考えます。その為に霞会に常設されている、総務・財務・広報・企画・組織の各委員会や臨時の50周年記念誌編集委員会にも参加して、皆さんの腕を奮っていただければ幸いです。何卒、霞会隆盛の為、皆さんと共に歩んでまいりますので、ご協力の程お願いいたします。

さて、これから皆さまは一般社団法人東京国際大学霞会の会員です。霞会は来年、創立50周年を迎えます。霞会は大学の発展に寄与し、会員相互の親睦、互助、知徳の啓発を図ることを目的に諸々の事業を展開しております。新しく会員になられた皆さんと共に霞会の50周年という節目を祝い、そして一般社団法人として恥じないようコンプライアンスに基づき次の時代に向かって邁進していききたいと思います。

また大学は9月に池袋キャンパスが開校します。東京国際大学の新たな幕開けになることでしょう。皆さんと共に「東京国際大学、ここにあり」と声高らかに応援していきたいと思ひます。

理事長・総長寄稿文

東京国際大学「池袋キャンパス」の竣工と創立60周年を迎えるにあたり

学校法人東京国際大学
理事長・総長

倉田 信靖

けています。
このような環境にあつて、大学名と所在地の乖離に違和感を訴える学生の声が寄せられていることも事実です。

東京国際大学霞会君野会長、役員各位、会員の皆さま、謹んでご挨拶申し上げます。

各位の温かなご理解とご支援のもとに三年余りの工期を費やして進めて参りました「東京国際大学池袋キャンパス」が愈々来る6月に竣工の期を迎えます。

この間にあつて皆さまには、まさしく物心両面にわたり多大なるご協力を賜りました。茲に深甚なる敬意と感謝を申し上げます。

さて、この度の「池袋キャンパス」の落成によって、具体的に何が齎されるのか、そして大学の未来に何が予見できるのか、この機会に理事長・総長として卑見を整理させて戴きたいと思ひます。

近年、東京国際大学は「スポーツの東京国際大学」と称される如く、スポーツ系の学生増とともに、Eトラックの導入にともない世界の凡そ百カ国からの留学生を加え、五千人規模から八千人規模の大学へと変化しました。

教育、研究内容も多岐にわたり、「データサイエンス」など最先端の教育を導入し、学際的な教育環境により、より優秀な若者の集う大学の構築を心がけています。

日本の首都「東京」を冠する大学として、世界から本学に期待する研究者、教育者、学生、また日本国内の関係者の存在も否定できません。

これらの観点から大学の名称に違和感のない大学であることは、将来的にも必然的と考えられます。

さらに、東京国際大学の各キャンパスを結ぶ交通機関が、東京池袋を起点として、同一路線上であることの利点は申し上げるまでもありません。

現在、本学関係者は、東京国際大学を世界の大学に並びたい大学へと成長、発展することを心がけ努力しています。

池袋キャンパスの開設のみならず、二年後には長年に亘る歴史と伝統によって築かれた皆様の母校、東京国際大学は創立60周年の記念の期を迎えることとなります。

幸い、この春の東京国際大学を志願した入学者数も堅調であります。

摺筆するにあたり、君野会長をはじめ、霞会諸兄弟のご多幸を衷心よりご祈念申し上げますとともに今後ともご指導ご協力賜りますことを庶幾し、蕪辞ですがご挨拶に代えさせていただきます。

戴きます。

戴きます。

社会から信頼をいただける強い大学を目指して

東京国際大学
学長

浅野 善治

じた同窓生との触れ合いは、東京国際大学の一員となったことを実感し、一生の思い出を数多く生み出す大切な機会ですが、コロナ禍における中止・制限という大変残念な状況が続いております。

平素より君野会長をはじめ霞会の皆様には大学の諸活動に多大なご助力、ご支援を賜り誠にありがとうございます。

2019年末に隣国中国で発生した正体不明の肺炎を引き起こす新しい感染症は、瞬く間に世界中に広がり、感染経路も明らかにならないまま、また、有効な治療法も見つか

らないまま、日本においても急速に拡大し、連日、死者の増加が報道されました。その影響をまともに受け、大学の活動は大きく制限され、授業形態も遠隔授業となり、毎年実施しておりましたアメリカンスタディーズ・プログラム(A

SP)も中断を余儀なくされました。

本来、大学生活は、新たな友人や教職員という、これまでにない出会いを生み出し、学業や運動部、サークル活動、日々の触れ合いを通じ、一生の財産ともなる人間関係を形成することのできる貴重な場です。キャンパスでの集いや諸行事を通

じてまいりたいと思ひます。

東京国際大学の更なる充実を図り、学生、保護者、地域社会、同窓生など、広く社会から信頼をいただける強い大学を目指してまいりたいと思ひます。

大学の総合力は、東京国際大学のあらゆる関係者が心を合わせて一丸となつてこそ大きな力を発するものと考えております。

霞会の皆様方のご理解、ご支援は、大変大きな力となっております。是非とも今後の東京国際大学の活動を温かく見守っていただきますとともに、引き続き皆様の温かいご支援、ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

戴きます。

2023年度

東京国際大学付属日本語学校
霞会奨学金授与式

2023年2月15日(水)東京国際大学付属日本語学校において優秀な成績を修め、かつ東京国際大学へ入学が決定した学生に霞会より奨学金を授与致しました。

今年度受賞したのはフィリピン出身の今行菜緒さんです。

今行さんは幼少期からフィリピンで育ち、自分で調べて東京国際大学付属日本語学校へ入学し、勉学に励み東京国際大学商学部の合格をつかみました。

大学入学後は、勉学はもちろんボランティア活動等も頑張っていきたいとコメントをいただきました。

最後になりましたが、授与式の間をご提供いただいた東京国際大学付属日本語学校に感謝いたしますと共に、御列席いただきました斉藤事務局長ならびに肥田野教務主任に御礼申し上げます。





池袋キャンパス現況



2023年3月10日、開校までいよいよ半年を切った東京国際大学池袋キャンパスを見学してまいりました。

航空写真から見えるトラックにはTIUの文字も入りいよいよ開校するのだとワクワクしてきました。

外観はほとんど完成しているように見え、隣接する公園からは一面ガラス張りのフロアが輝いて見えました。

池袋キャンパスは4000人の学生を収容する都市型キャンパスです。

東京国際大学のグローバル教育機能を高めた新キャンパスでは、100ヶ国

を超える留学生が学ぶことになります。

川越にある第1キャンパス同様、留学生の出身国の国旗が池袋の四季折々の風景のもとたなびくことでしょう！

池袋キャンパスは9月に開校予定ですので、今年4月入学の該当する学生は、半年間川越のキャンパスで学びます。

入学後、半年間は「川越」、残りは新しい都市型キャンパス池袋という東京国際大学の原点と新しいキャンパスで最新の施設環境で学べる新入生が羨ましく思います！



池袋キャンパス

【アクセス】

- 東京メトロ有楽町線「東池袋駅」より徒歩4分
- JR線・東武東上線・西武池袋線「池袋駅」東口より徒歩12分
- JR線「大塚駅」より徒歩10分

池袋キャンパス
2023年9月
開設!

募金のお願い

東京国際大学では、池袋キャンパス開設に伴い記念募金を行っています。
また「サポーター」として教育研究活動の各取り組みに応援いただくサポーターズ募金も行っています。

霞会会員皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。



池袋キャンパス開設記念募金

(募集期間 2020年～2023年9月)

2023年9月に池袋キャンパスが開設し、「池袋・川越・坂戸」3拠点において、国内はもとより、広く国際社会からも評価される教育機関として、更に飛躍していきます。

申込方法

○郵便局での振込

専用の「払込取扱票」によりお振込みいただけます。

○クレジットカード決済

大学HPまたはQRコードを読み取り、寄付フォームからクレジットカード決済が可能です。

○インターネットバンキング決済

大学HPより「寄付申込書」をダウンロードし、必要事項をご記入のうえ大学の担当事務局へ郵送、FAX、E-mail添付のいずれかの方法にてご送付後お振込みいただけます。

○「受配者指定寄付金」(日本私立学校振興・共済事業団経由の寄付制度)による寄付(法人のみ)

担当事務局から送付する、所定の「寄付申込書」による手続きとなります。

詳細ならびにご不明なところは、大学HPにてご確認いただくか右記宛にお問い合わせください。(霞会事務局でも承ります。)

東京国際大学 サポーターズクラブ どるふいん教育/スポーツ振興サポーターズ募金

建学の精神である「公德心を体した真の国際人の養成」を具現化するため、「英語力の東京国際大学」「スポーツの東京国際大学」を二本の柱として、更なる飛躍と発展のため、教育事業の改革に日々取り組んでいます。

問合せ先：東京国際大学

TEL: 03-6304-0870 / FAX: 03-3362-9643

Mail: kaikokinen@tiu.ac.jp (池袋キャンパス開設記念募金事務局)

supporters@tiu.ac.jp (サポーターズクラブ事務局)



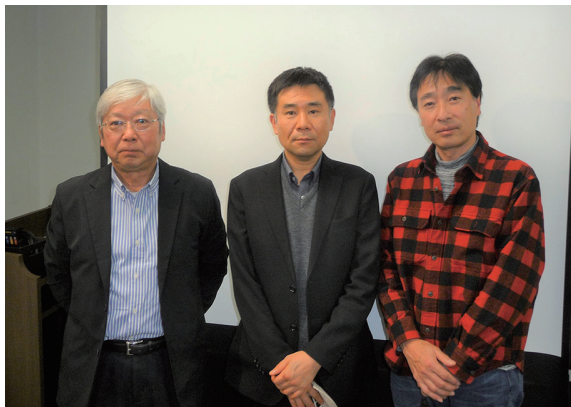
「池袋キャンパス開設記念募金のお祝い」



「どるふいん教育/スポーツ振興サポーターズ募金」
募集要項

霞会各委員会紹介

総務委員会



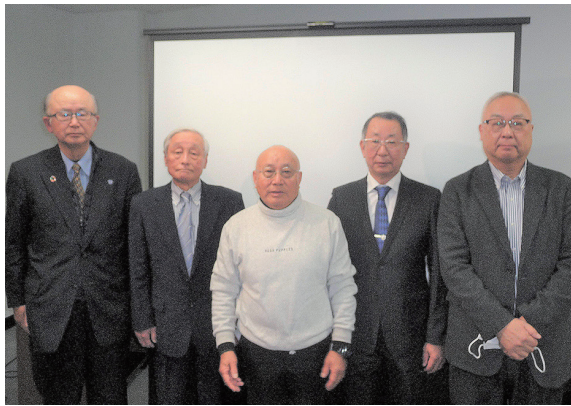
財務委員会



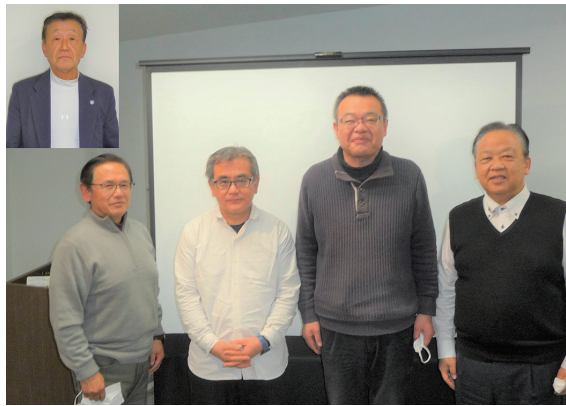
企画委員会



組織委員会



広報委員会



監事



「霞会創立50周年記念誌」の発行のお知らせ

2024年11月の総会は、霞会創立50周年記念総会になります。当日受付で配布する「記念誌」の発行を準備しています。記念誌に盛り込む企画・情報等を募集します。

皆さんの学生時代のゼミ活動・ゼミ合宿やクラブ活動などの写真、霞ヶ関での思い出の写真や、支部やゼミ・クラブOB会の集合写真と原稿、海外で活躍

する同窓生の記事と写真、その他、経営者、政治家、学者、作家、芸能人、スポーツ選手、地元での有名人など各分野で活躍されている方の情報、それから、あなたご自身の記事と写真もお待ちしております。

(50周年記念誌編集委員会 委員長 高橋 広)

広報委員会からのお知らせ

●広報担当員募集

霞会では霞会報ならびにHPやFacebook・メールマガジン等にて会員各位に情報提供を行っております。

提供できる情報をもっと充実させるために、霞会広報委員会では各都道府県支部において広報活動にご協力いただける広報担当員を募集いたします。

霞会報に掲載する「会員紹介」や賀詞交歓会にて授与する「霞賞」の候補者として地元のTIU卒業の有名・著名人の紹介や、各地区の情報提供、そしてそれらの取材活動、また情報の発信等にもご協力いただきます。

協力のご連絡やお問い合わせについては、霞会事務局までご連絡ください。

●Facebookやメールマガジンへ登録のお願い

霞会では情報提供媒体として、HPやFacebook・メールマガジン等のデータ配信を充実していきます。

つきましては、Facebook・メールマガジンへの登録参加をお願いいたします。詳細は本紙「事務局だより」をご確認ください。

●霞会からの情報発信

一般社団法人東京国際大学霞会では、本霞会報の他ホームページ・メールマガジン、Facebookで情報発信を行っています。また投稿依頼も受け付けています。事務局までご連絡ください。



HPトップページ



メルマガ登録ページ

<https://kasumikai.jp/>



霞会本部



事務局だより

●Facebookを活用してください

「【公認】東京国際大学霞会 グループ」に参加してください。参加が承認された会員のみが閲覧できるグループですので、近況報告や会員同士の交流の場としてご利用ください。

参加する際には必ず、卒期、学部学科、ゼミ、クラブ等の記入をお願いいたします。

●住所等変更届けのお願い

会員の皆様には、お名前・ご住所・勤務先等に変更が生じた場合、お手数でも事務局までご連絡をお願いいたします。ご連絡は、電話・FAX・メールの他霞会HP「会員情報変更」でも承っております。

お預かりする個人情報は、プライバシーポリシー（個人情報の保護に関する法律）に基づき個人情報を適正に取り扱うことを守ります。

●同窓会費納入のお願い

霞会は皆様から納めていただいた同窓会費にて運営すると共に、大学や学生への支援を行っております。

同窓会費は終身会費にて4万円です。皆様のご協力をお願いいたします。（同窓会費の納付状況が不明の方は、事務局までご連絡ください。）

●次号「霞会報 第92号」は2023年12月発行予定

霞会報92号は霞会ホームページ、Facebookへの掲載のみとなりデジタル化を図っていきます。

※一般社団法人東京国際大学霞会（同窓会事務局）

TEL: 049-232-2080 / FAX: 049-233-3314

E-mail: doso@tiu.ac.jp